

東洋英和女学院大学大学院

2021年度前期入学試験
春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻
修士課程 人間科学領域

(死生学)

小論文

I. ミネソタ大学名誉教授の社会心理学者 Pauline Boss 博士は、戦争や災害における行方不明者の家族の支援に 40 年以上携わるなかで、「あいまいな喪失」という考え方を提示しています。これは東日本大震災後の日本においても注目され、さらに 2020 年以降のコロナ禍において、この考え方が再び脚光を浴びつつあります。コロナ禍における「あいまいな喪失」論の適用の可能性について論じ、さらにそれに対する対応法について、あわせて 500 字以内で自己の考えを論じてください。

II. 斎藤清二著 (2020) 『人体の構造と機能及び疾病』遠見書房、p.213.

からの引用文です。この内容を具体的に判り易く 500 字以内で説明して下さい。

「緩和ケアという概念は近年の疾病構造や医療構造の変化に伴って著しく変化している。この変化は医療における支配的（ドミナント）な物語であった『病気・死との闘いと克服の物語』から『生と死を共に慈しむ物語』というオールタナティブな物語への移行として理解できるだろう。また医療の行われる場所という観点からは、『20 世紀の病院中心の医療』から『21 世紀のコミュニティ中心の医療』への移行として理解する事もできる。」